

学科 学年	E1 S1	科目 分類	古典 Classical Japanese	講義 必須	前期 1 単位	学習教育 目標 1 AE	担当	諏訪睦生 Suwa mutuo
概 要	古典文学中、比較的学びやすい「徒然草」から、生徒が興味を持ちそうな章段を数編選んで、古文読解の基礎を学習する。さらに古典文学について理解を深め、豊かな教養を養うとともに、より広い知識と考え方をつける。							
科目目標 (到達目標)	(1) 古文の読解力を養う。(2) 古典の知識をつける。(3) ことばの感性を磨く。							
教科書 器材等	プリント教材、ビデオ等の視聴覚教材。							
評価の基準と 方法	定期試験を中心とし、普段の学習状況(主にレポート)により習熟度・達成どをはかる。							
関連科目	1 学年から 4 学年までの書く国語教科目							
授業計画								
第 1 回	「つれづれなるままに」「神無月のころ」音読解釈批評、かなづかいと発音							
第 2 回	「をりふしの移り変わるこそ」(一)音読読解解釈・鑑賞批評 辞書の引き方							
第 3 回	「をりふしの移り変わるこそ」(二) ; 古典解釈文法「係り結び」							
第 4 回	「人の亡きあとばかり」音読・解釈・鑑賞批評、解釈文法「用言の用法」							
第 5 回	「亀山殿の御池に」「名を聞くより」 ; 「助動詞の用法(一)」							
第 6 回	「高名の木登り」 ; 「 ; (二)」							
第 7 回	「友とするに悪き」「西大寺の静然上人」 ; 「 ; (三)」							
第 8 回	定期試験							
第 9 回	「世の語り伝ふること」 ; 「 ; (五)」							
第10回	「悲田院の堯蓮上人は」 ; 「助詞の用法(一)」							
第11回	「花は盛りに」 ; 「 ; (二)」							
第12回	「丹波に出雲といふ所あり」 ; 「 ; (三)」							
第13回	「平宣時朝臣、老いののち」 ; 「 ; (四)」							
第14回	「さしたることなくて」 ; 「 ; (五)」							
第15回	定期試験							
第16回								
第17回								
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
オフィス アワー	出勤日(火・水・金)の昼休み時間、非常勤講師室にいる。							
授業アンケート への対応								
備 考	教材の指導内容(章段)は差し替えることもある。							

